



ぼらんていあ通信

5月号
通巻 No.498

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年5月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info/



4年ぶりに開催された市民まつり

第50回相模原市民若葉まつりに参加しました！

たくさんの笑顔に出会えたパレード&福祉バザー！！



ボランティア協会

若葉まつりのパレードに参加！

桜の花のトンネルから若葉のトンネルへと移り変わった令和5年5月13・14日に市民若葉まつりが開催された。市役所さくら通りの主会場として毎年4月の桜の咲く頃に市民桜まつりとして行われていたが、今年は4月に統一地方選挙があったため5月に若葉まつりとして開催された。

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりとなるが、今回は50回目となる。13・14日というこんな催し物がある中、14日は市役所さくら通りで行われた市民パレードに当協会も参加した。相模原市少年鼓笛隊バンド連盟12隊の元気で楽しい演奏で始まったパレード。公道にはそれぞれの団体を応援する人々やたくさんのお見学者がいた。

当協会の出番です！ オレンジ色のジャンパーを着用した協会員がボランティア協会のシンボルマークの幕を持ち、続いて「安全安心を乗せる福祉車両」と書かれた垂れ幕、車いすのまま乗れる福祉車両、車いす、ボランティアの自家用車によるセタン車両と続いた。これらの福祉車両は歩行困難な方々への移送援助活動を行う車両だ。当日は薄曇りで時々小雨が降る中のパレードだったが、若葉を背景に協会のオレンジ色のジャンパーが輝いて見えた。お疲れさまでした。(小山)

バザー会場では！

「コロナ禍で4年ぶりの開催となった若葉まつり。心配された雨もほとんど傘なしで歩けた。私が出かけた日曜日、市役所通りのあちこちから10時から11時までの歩行者天国に向けて警備の人が準備中。縁日の屋台は販売を始めている店もあるが、何だか以前より少ないようだ。

目当てのけやき体育館・バザー会場へは10時数分前に到着。10時のオープンを待っている人が十数人、なんとなく閑散としている。正面にボランティア協会の「心」のマークを見つけた。

所狭しと並んでいる品物を前にお客さんとバザー担当者が相対している。食器、雑貨、布や毛糸、手作りのエプロンや帽子、アクセサリーなど…。

手作りの品はボランティア協会の手芸サークルのメンバーや一般会員がていねいに仕上げた物ばかり(どれも欲しくなるが終活で家の中を整理中の身、毛糸だけ購入)。

他団体のブースでは衣類や古本、作業所で作った野菜も売っていた。午後からの人出を願って風近くにバザー会場を後にした。(二十尾)

*バザー会場の写真は次ページに掲載しています。





*ボランティアとして参加して下さった皆さま、
バザー品を提供して下さった皆さま、ほんとう
にありがとうございました。おかげさまで沢山の
方々にお買い上げいただきました。



NPO法人の活動紹介ポスター展にボランティア協会も参加！

神奈川県では、県内のNPOの認知度向上や社会貢献活動への理解促進のためにポスター展を予定しています。ボランティア協会のPRポスターも掲載されますので、ぜひご覧になってください。

○展示期間

令和5年6月19日（月）～ 令和5年6月30日（金）

○展示場所

神奈川大学みなとみらいキャンパス1階 展示エリア

覗いてみて
ください



また、ポスターは県HPでも掲載中です。

（県HP）県内で活動している認定（特例認定）・指定NPO法人を紹介します！

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/202212katudou_syokai.html

6月の記念日は？

小倉義男

6月2日、裏切りの日です。

1582年（天正10年）のこの日、本能寺の変で、織田信長が明智光秀に裏切られて攻められ、本能寺で自害した。毛利攻めに難儀している羽柴秀吉の応援を命じられた明智光秀は、進軍の途中で道を変更し、「敵は本能寺にあり」と言って、本能寺の織田信長を襲った。信長の遺体は出てきていないようで、逃げ延びたという説もあるようですが、いまだに謎多き事件ですよね。

小倉画



クイズに挑戦



今月は昆虫クイズです。

①昆虫のからだは大きく3つの部分に分けられますが、その3つに含まれないものは？

アむね イあたま ウこし エはら

②次の昆虫のうち、さなぎになるのはどれでしょうか？

アバッタ イハチ ウカマキリ エトンボ

③昆虫が地球上に現れたのは、約何年前でしょうか？

ア約4億年前 イ約4000万年前

ウ約400年前 エ約40年前

④次の生きもののうち、昆虫ではないものは？

アアリ イノミ ウクモ エハエ

市内施設訪問記

お楽しみ

相模原市立環境情報センター
エコパークさがみはらを訪問



4月28日(金)、市役所向かいにある市体育館の隣の相模原市立環境情報センター(愛称 エコパークさがみはら)を訪問し、センター長の笹原豊さんにお話をうかがいました。

Q 設立はいつでしょうか?

A 平成18年4月に相模原市環境情報センターとして設立しました。令和4年から親しみやすいエコで公園みたいなイメージで、愛称の『エコパークさがみはら』を使用しています。

Q エコパークさがみはらはどのような施設でしょうか?

A 環境についての学習や活動をしたり情報を得るための施設です。

Q そのためにはどのような事業を行っていますか?
A 相模原市の自然環境保全、環境教育に貢献することを目的としたことを行っています。

★環境学習講座の開催・・・「地球温暖化」「生物多様化」「ごみ減量」などの身近な環境問題や専門的な知識を学ぶことができる各種講座を実施しています。たとえば親子で作るおからケーキ作りは大人気です。



センター長の笹原さん

エコ講習会など、キッズセル待ちができるほかにも楽しい講座を開催しています。

★環境活動の支援・・・市民活動団体、事業者、大学などの情報を発信したり、団体運営や活動の支援を行っています。必要な教材や備品、書籍、資料の貸し出しなどもおこなっています。

支援活動には

*相模原自然環境観察員制度の運営・・・多くの人に関心を持ってもらうことを目的に、身近な生き物を調査しています。市内全域を対象とする全体チーム調査、植物、野鳥、河川生物相、湧水環境調査の他、学習会や観察会を行っています。これは毎年100名位のボランティアの方々の協力で行われていて、ボランティア募集を行っています。

*「インターネットの輪」の運営・・・市民活動団体、事業者、大学、行政から提供いただいた活動プログラム情報をもとに学校、地域で行われる学習や活動をサポートしているシステムを運営しています。

*「まもエコくん」相模原事務局の運営・・・幼児(3歳)から高校生までの子ども達が取り組むエコな活動を応援しています。現在は160名ほどで、随時募集中です。

館内は2階建て、活動室や学習室もあり利用できます。環境情報コーナーでは、環境関連の書籍や資料を自由に閲覧でき、幼児向けから専門的なものまで貸出も行っていきます。津久井産材で作られたテーブル、イスが設置され温かい雰囲気の中で読書もいいですね。またキッズスペースもあり、子ども達も楽しめます。販売コーナーでは津久井産材の積み木の販売も



ています。また、施設では自転車で発電体験もできます。取材当日、体験させていただきました。イザッ意気込んでペダルを踏むも残念、電気は1個もつかず。同行者はお見事、電球6個全部点灯。体力不足を感じつつ家中の電気を賅うにはどれだけの電力が必要なのでしょうかと考えさせられました。機会があれば、ぜひ体験してみてください。

エコパークでは『使用済みペリリサイクルボックス』があります。プラスチック製品のボールペン、サインペン、シャープペンシルと替芯のケースなどの回収を行っています。分別なくともそのまま持ち込んでもOKです。

エコパークさがみはらは、小さい頃から楽しくエコにふれ、親しみ、考え、実行することが身につく施設。そんな楽しい施設が、こんな身近にあったのですね。大人だけでなく親子でもちょっと立ち寄ってみませんか?とても楽しい取材でした。ありがとうございました。

(恒藤・小山)



使用済みペリリサイクル回収BOX



相模原市立環境情報センター エコパークさがみはら
〒252-0236 相模原市中央区富士見1-3-41
TEL 042-769-9248
開所時間 9:00~17:00
休所日 毎週木曜日、年末年始、施設点検日

新年度がスタートしました！

5月21日(日)に開催された2023年度通常総会ではすべての議案が承認されました。また総会後に開催された理事会で新会長、新副会長も決まりましたので「報告」します。



2023年度役員

- 会長 加藤 修 (かとう おさむ)
- 副会長 恒藤 玲子 (つねふさ れいこ)
- 副会長 澁谷 久美 (しぶや ひさみ)
- 理事 羽田 彌 (はねだ ひさし)
- 理事 西本 敬 (にしもと たかし)
- 理事 松原 俊 (まつはら しゅん)
- 理事 佐藤 一春 (さとう いちはる)
- 無任所理事 阿部 真由美 (あべ まゆみ)
- 監事 高橋 功 (たかはし いさお)
- 監事 杉本 榮治 (すぎもと えいじ)

今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

総会の詳細な「報告」は、来月号のぼらんていあ通信に掲載します。

お知らせ

相模原ボランティア協会 6月の予定

今年の「ほかほかふれあいフェスタ2023」は10月21日(土)に開催予定です。健康フェスタなどと合同開催となりますので、お楽しみに♪
障害者週間キャンペーンは11月25日(土)です。
*ほかほかふれあいフェスタ実行委員会より

日	時間	内容
3(土)	13:30~	HC委員会
7(水)	10:00~	交流ポウリング大会・実行委員会
10(土)	10:00~	理事会
13(火)	10:30~	広報委員会・ぼら通部会
17(土)	9:00~	交流ポウリング大会
	13:00	事務局委員会
20(火)	10:30~	ぼら通6月号印刷・発送
23(金)	10:00~	講座検討委員会

ご存じですか?

きゅうきゅう安心カード



住所	血液型
自宅電話番号	
家族等連絡先	住所 氏名
協力者等	住所 氏名

病状やかかりつけの医療機関等を記入してください

万が一、火災などの災害にあたり、急病にかかったときに、消防隊や救急隊がこの「安心カード」に記載された情報に基づき、迅速適切な救急処置などを行う上で役立つカードです。

財布などに入る大きさ(6センチメートル×9センチメートル)で、常時携帯することができ、市内に住んでいる人が対象です。

近くの消防署、消防分署、消防出張所及び救急隊派出所内で配布していて、来庁することが困難であるなど、やむを得ない事由がある場合については、郵送も行ってくれるそうです。

①は、④は、
②は、①ハチ
③は、②の約4億年前。
昆虫の登場は約3億5000年〜約4億年前の古生代デボン紀の「ジュウキョウ」から始まります。
④は、④クモ
昆虫の脚は3対6本ですが、クモは4対8本のため、昆虫ではなごんじです。

クイズの答え



会員のひろば

会員の皆さまより、自由で語って
いただいローナーです。

Y夫妻のじじ

橋本千香子



私がYさんとお会いしたのは、私の働く通所介護施設の入口にお迎えしたときで、奥様と一緒に。若い御夫妻と共に70代前半に見えた。

健康そので力がみなぎっていて好奇心たっぷり目の目をしていった。トリーニングマシンを使用した運動に興味を示した。1年程前に引越し最寄の駅から徒歩10分位のマンションに2人暮らしだった。後に想像したのだがそれはこれからの病気の日々を考えた選択のよつだった。駅と自宅の間に施設があり毎朝奥様に送られて通所されるこの道は、バス停やスーパー、コンビニなどが点在している。それらの角をいくつか曲がるお宅に通ずる道でもあった。帰りにお送りのお宅の道を歩くと、家たよ、あの建物だ」と案内してくれた。

朝奥様から「主人が行っていませんか」と電話がある。この一斉にスタッフが飛び出して行く。コンビニは勿論スーパー、バス停などを探しまわぬ。コンビニでカードを使って買い物するので店員と話し込んでいることもあった。カードが使えなくても自宅へ連絡があった後日奥様が支払を済ませる。Yさんは慎重なので初めてのことはしない。奥様は判断していい。ほその通りのことが多い。病気の進行により機能低下が見られても、主人の行動に動機がある。想像する

じじは参考になる。

そんないつもの朝、探しているバスを待つ通勤客の中に当然のように立っていた。バスが来たら一緒に乗りこむ人ごみの中に、「おはようございます。お出かけですか」と聞くと口にもったが、バスを待つて乗り込む多忙な頃の自分を重ねていたのかも知れない。

奥様の負担を考えると、ケアマネはショートステイの利用を勧めていたが全く取り合わず常に奥様と一緒に行動を前提としていた。ある日、奥様が即日入院を勧められ、ケアマネはYさんのサービスを変更し、翌日から短期入所利用のプランを準備した。奥様のいない夜を過ごした翌朝、ケアマネから短期入所の迎えが「不在のよつだ」と言っている。電話があった。サービスの種類が居宅サービスから施設サービスへ変更になっているケースなので驚いたがしばらくすると一人で施設の入口に顔をみせた。前日にケアマネ・短期入所担当者・包括支援センター相談員が今夜は奥様が入院され一人であること、翌朝はしばらく宿泊する入所施設が迎えに来ることなど説明したに違いない。不安の中自分の習慣となった行動をしたのかも知れない。環境や状態が変化するとき(状態のアップ・ダウンや疾患の変化、取り巻く問題の新たな発生・改善や解決)には、サービスの再検討や変更を提案するが、新たな状況が誰も傷つかず改善や解決を後押しすることがある。学び事例だった。

その後主人は介護士が男性であることに驚き、男同士の手ごたえある触れ合いを楽しみ施設の生活を過ごしている。関係者が提案していた入所を希望

あら ほんと?

真っ黒な“傘”を使って魚捕り

サハラ砂漠以南のアフリカに生息するクロコサギは、獲物を捕らえるための、巧妙な技を持っている。浅瀬で小魚を捕らえるとき、漆喰の翼を傘のように広げるのだ。すると、その下に日陰がつけられ、身を隠す場所を探していた魚が集まって来るという。

この黒い翼はマントのような働きもするようだ。広げると、魚からはサギが見えにくくなり、サギからは魚が見つけやすくなるという効果もあると考えられているそうだ。

*ナショナルジオグラフィック日本版より



安全な環境で「忘れて行くじじ」を超えて今を楽しんでいるに違いない。奥様は主人の病を自らの身体で受け止めていたかも知れない。オペを終えて「旅行に行きたい」を実現しているかも知れない。

ボランティアさん募集!

子どもの居場所 ボランティア募集!

団体名：くすのき広場

日時：毎週月曜日 午後3時30分～6時30分

※月1回、2時間程度の参加でもOKです。

※お弁当作り(調理)は、午後1時集合となります。終了時間は各自の都合でかまいません。

場所：市営上九沢団地 C棟多目的室(緑区上九沢4番地)

主催：子どもの育ち応援団(上九沢団地住民有志で組織)

内容：家庭と学校以外に子どもたちが様々な大人と出会える場

として、子ども食堂と学習支援の場の両方を運営して

います。楽しみながら運営のお手伝いをしてくだ

さるボランティアさん、ぜひご連絡ください!

申込み：電話にて、担当・吉澤(よしざわ)氏にご連絡ください。

連絡先：090-6515-6268

☆右上の二次元コードから「子どもの居場所情報サイト」が閲覧できます。他の居場所の活動情報もご覧頂けます。



相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話 042(786)6181

FAX 042(786)6182

メール

svc@sagamiharashishakyo.or.jp

《今月のイラスト》

… そんなに楽しいの?

ごっきげんでお片付け～ …



山口尚美画

編集後記

薔薇薫る五月、かと思えばすでに夏日もちらほら…

この頃は、梅雨の気配を気にしつつ、迂闊にも傘を忘れて軒を借りるのも子どもの頃以来。

あの頃は二人、三人でおしゃべりだったなど、ひとりの今想う

笑み。

傘 夕立や

軒下集う 通学路

水匂う道 駆ける家路へ

(佐藤一春)

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<4月の寄付者> 大戸行政書士様、佐藤一春様

他6名の方からご寄付をいただきました。

<4月の寄付金> 総額 46,908円でした。

当協会は認定 NPO 法人であり寄付金は税制の優遇措置が受けられます。

【寄付金振込口座】

*ゆうちょ銀行 記号：10230 番号：96766581

口座名：サガミハラボランティアキョウカイ

*他の銀行から振り込まれる場合

店名：028(ゼロニハチ) 店番：028

預金種目：普通預金 口座番号：9676658

口座名：サガミハラボランティアキョウカイ

※お振込みいただいた場合は、寄付金の証明書をお送りする(翌年初)ため下記あてご住所、電話番号をご連絡ください。

あじさい連絡所

TEL・FAX 042-759-7982

メール sagamiva@feel.ocn.ne.jp